

職業実践専門課程等の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地																																						
東京ビューティーアート専門学校		平成11年12月10日		中村 光一		〒 113-0033 (住所) 東京都文京区本郷3丁目37番8号 (電話) 03-5805-1251																																						
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地																																						
学校法人三幸学園		昭和60年3月8日		鳥居 敏		〒 113-0033 (住所) 東京都文京区本郷三丁目23番16号 (電話) 03-3814-6151																																						
分野	認定課程名	認定学科名		専門士認定年度	高度専門士認定年度	職業実践専門課程認定年度																																						
衛生	衛生専門課程	トータルビューティー科		平成13(2001)年度	-	平成27(2015)年度																																						
学科の目的	「世の中の困難を希望に変える」をミッションとし、学校教育法に基づき、美容業界に従事しようとする者に必要な実践的かつ専門的な知識、技能を教授することによって、明日の美容業界を担う人材を養成することを目的とする。																																											
学科の特徴(取得可能な資格、中退率等)	(取得可能な資格)トータルメイクアップ検定ベーシック～アドバンス・JNECネイリスト技能検定1～3級・JNAジェルネイル技能検定試験初級～上級・パーソナルカラーコーディネーター検定ベーシック・日本化粧品検定1～2級・きもの講師免許2～3級・サービス接遇検定1～3級 主体性・多様性・協働性を身に付け、様々な美容現場で活躍する人材を育成する。																																											
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数		講義	演習	実習	実験	実技																																				
2年	昼間	※単位時間、単位いずれかに記入	単位時間 62 単位	単位時間 117 単位	単位時間 142 単位	単位時間 5 単位	単位時間 0 単位	単位時間 13 単位																																				
生徒総定員	生徒実員(A)		留学生数(生徒実員の内数)(B)		留学生割合(B/A)	中退率																																						
260 人	178 人		14 人		0 %	13 %																																						
就職等の状況	<table><tr><td>■卒業者数(C)</td><td>:</td><td>80</td><td>人</td></tr><tr><td>■就職希望者数(D)</td><td>:</td><td>71</td><td>人</td></tr><tr><td>■就職者数(E)</td><td>:</td><td>71</td><td>人</td></tr><tr><td>■地元就職者数(F)</td><td>:</td><td>48</td><td>人</td></tr><tr><td>■就職率(E/D)</td><td>:</td><td>100</td><td>%</td></tr><tr><td>■就職者に占める地元就職者の割合(F/E)</td><td>:</td><td>67.6</td><td>%</td></tr><tr><td>■卒業者に占める就職者の割合(E/C)</td><td>:</td><td>88.7</td><td>%</td></tr><tr><td>■進学者数</td><td>:</td><td>9</td><td>人</td></tr><tr><td>■その他</td><td colspan="3"></td></tr></table> (令和 6 年度卒業生に関する令和 7 年 5 月 1 日時点の情報) ■主な就職先、業界等 (令和6年度卒業生) 美容部員、ネイルサロン、エステサロン、脱毛サロン								■卒業者数(C)	:	80	人	■就職希望者数(D)	:	71	人	■就職者数(E)	:	71	人	■地元就職者数(F)	:	48	人	■就職率(E/D)	:	100	%	■就職者に占める地元就職者の割合(F/E)	:	67.6	%	■卒業者に占める就職者の割合(E/C)	:	88.7	%	■進学者数	:	9	人	■その他			
■卒業者数(C)	:	80	人																																									
■就職希望者数(D)	:	71	人																																									
■就職者数(E)	:	71	人																																									
■地元就職者数(F)	:	48	人																																									
■就職率(E/D)	:	100	%																																									
■就職者に占める地元就職者の割合(F/E)	:	67.6	%																																									
■卒業者に占める就職者の割合(E/C)	:	88.7	%																																									
■進学者数	:	9	人																																									
■その他																																												
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: ※有の場合、例えば以下について任意記載 評価団体: 受審年月: 評価結果を掲載したホームページURL																																											
当該学科のホームページURL	https://www.sanko.ac.jp/tokyo-beauty/course/beauty/																																											
企業等と連携した実習等の実施状況(A、Bいずれかに記入)	(A: 単位時間による算定) <table><tr><td>総授業時数</td><td>0 単位時間</td></tr><tr><td>うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数</td><td>単位時間</td></tr><tr><td>うち企業等と連携した演習の授業時数</td><td>単位時間</td></tr><tr><td>うち必修授業時数</td><td>単位時間</td></tr><tr><td>うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数</td><td>単位時間</td></tr><tr><td>うち企業等と連携した必修の演習の授業時数</td><td>単位時間</td></tr><tr><td>(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)</td><td>単位時間</td></tr></table> (B: 単位数による算定) <table><tr><td>総単位数</td><td>62 単位</td></tr><tr><td>うち企業等と連携した実験・実習・実技の単位数</td><td>17 単位</td></tr><tr><td>うち企業等と連携した演習の単位数</td><td>0 単位</td></tr><tr><td>うち必修単位数</td><td>9 単位</td></tr><tr><td>うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の単位数</td><td>0 単位</td></tr><tr><td>うち企業等と連携した必修の演習の単位数</td><td>0 単位</td></tr><tr><td>(うち企業等と連携したインターンシップの単位数)</td><td>0 単位</td></tr></table>								総授業時数	0 単位時間	うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数	単位時間	うち企業等と連携した演習の授業時数	単位時間	うち必修授業時数	単位時間	うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数	単位時間	うち企業等と連携した必修の演習の授業時数	単位時間	(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)	単位時間	総単位数	62 単位	うち企業等と連携した実験・実習・実技の単位数	17 単位	うち企業等と連携した演習の単位数	0 単位	うち必修単位数	9 単位	うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の単位数	0 単位	うち企業等と連携した必修の演習の単位数	0 単位	(うち企業等と連携したインターンシップの単位数)	0 単位								
総授業時数	0 単位時間																																											
うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数	単位時間																																											
うち企業等と連携した演習の授業時数	単位時間																																											
うち必修授業時数	単位時間																																											
うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数	単位時間																																											
うち企業等と連携した必修の演習の授業時数	単位時間																																											
(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)	単位時間																																											
総単位数	62 単位																																											
うち企業等と連携した実験・実習・実技の単位数	17 単位																																											
うち企業等と連携した演習の単位数	0 単位																																											
うち必修単位数	9 単位																																											
うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の単位数	0 単位																																											
うち企業等と連携した必修の演習の単位数	0 単位																																											
(うち企業等と連携したインターンシップの単位数)	0 単位																																											
教員の属性(専任教員について記入)	<table><tr><td>① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者 (専修学校設置基準第41条第1項第1号)</td><td>26 人</td></tr><tr><td>② 学士の学位を有する者等 (専修学校設置基準第41条第1項第2号)</td><td>6 人</td></tr><tr><td>③ 高等学校教諭等経験者 (専修学校設置基準第41条第1項第3号)</td><td>0 人</td></tr><tr><td>④ 修士の学位又は専門職学位 (専修学校設置基準第41条第1項第4号)</td><td>0 人</td></tr><tr><td>⑤ その他 (専修学校設置基準第41条第1項第5号)</td><td>1 人</td></tr><tr><td>計</td><td>33 人</td></tr></table> 上記①～⑤のうち、実務家教員(分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を想定)の数 26 人								① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者 (専修学校設置基準第41条第1項第1号)	26 人	② 学士の学位を有する者等 (専修学校設置基準第41条第1項第2号)	6 人	③ 高等学校教諭等経験者 (専修学校設置基準第41条第1項第3号)	0 人	④ 修士の学位又は専門職学位 (専修学校設置基準第41条第1項第4号)	0 人	⑤ その他 (専修学校設置基準第41条第1項第5号)	1 人	計	33 人																								
① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者 (専修学校設置基準第41条第1項第1号)	26 人																																											
② 学士の学位を有する者等 (専修学校設置基準第41条第1項第2号)	6 人																																											
③ 高等学校教諭等経験者 (専修学校設置基準第41条第1項第3号)	0 人																																											
④ 修士の学位又は専門職学位 (専修学校設置基準第41条第1項第4号)	0 人																																											
⑤ その他 (専修学校設置基準第41条第1項第5号)	1 人																																											
計	33 人																																											

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

企業等との連携を通じて必要な情報の把握・分析を行い、実践的かつ専門的な職業教育を実施することを目的として、教育課程編成委員会を設置する。委員会は次の各号に掲げる事項を審議し、授業科目の開設や授業方法の改善・工夫に生かす。

- (1)カリキュラムの企画・運営・評価に関する事項
- (2)各授業科目の内容・方法の充実及び改善に関する事項
- (3)教科書・教材の選定に関する事項
- (4)その他、教員としての資質・能力の育成に必要な研修に関する事項等

またより正確に業界における動向や求められる人材要件を把握するため、就職・実習先企業や業界団体、資格・検定団体等と関係性を深め、幅広く連携を図ることで、業界の求めるニーズを確実に捉え、本校のカリキュラムや授業内容に反映する。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

教育課程編成委員会での審議を通じて示された企業等の要請その他の情報・意思を十分に生かし、実践的かつ専門的な職業教育を実施するに相応しい教育課程の編成を協力して行うものとして位置づけている。

具体的には、審議を通じて示された教育課程編成に係る意見を基に、副校長および各校教務チームによって教育課程およびシラバスの改善素案が作成され、美容分野専門委員会(別紙組織図:各専門委員会)にて提案される。

提案に基づき、美容分野専門委員会にて審議の上、次年度の教育課程およびシラバスに改善内容が反映される。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和7年6月30日現在

名 前	所 属	任期	種別
木下 美穂里	NPO法人日本ネイリスト協会理事	令和7年4月1日～令和9年7年3月31日(2年)	①
野田 かをり	パルファン・クリスチャン・ディオール株式会社 営業本部リテールヒューマンリソースマネージャー	令和7年4月1日～令和9年7年3月31日(2年)	③
竹内康崇	株式会社 アンジェラックス 人事部長	令和7年4月1日～令和9年7年3月31日(2年)	③
渡部 景子	東京ビューティーアート専門学校 副校長		-
小倉 裕子	東京ビューティーアート専門学校 副校長		-
衛藤 薫	東京ビューティーアート専門学校 主任		-
藤原 菜穂子	東京ビューティーアート専門学校 主任		-
青波 翔子	東京ビューティーアート専門学校 主任		-

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。
(当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「-」を記載してください。)

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回 (6月、12月)

(開催日時(実績))

第1回 令和6年6月10日 15:00～17:00

第2回 令和6年12月12日 15:00～16:30

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

委員会にいただいた以下の意見について対応を行っている。

◆働き方の多様化が進んでおり、シフト調整や急な欠勤に対応しづらくなっている。学校でも自己管理面の指導を強化し、社会人基礎力の向上を図っていただきたい。またコミュニケーション力は課題であり、入社後の入客をスムーズにする意味で強化を図って欲しい。

⇒サロンワーク内でも授業に接客のロールプレイングを取り入れ、より現場に近い学びとなるように内容の変更を検討していく。また日常生活の中で基本的な登校習慣や自己管理面などを指導し、社会人基礎力向上に努めていく。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

実践的な指導を施すにあたり、美容業界における実績や、実践的かつ専門的な知識・技術およびその指導能力を有する指導者が得られる企業等を選定し、実践計画の作成から連携を図る。美容業界の求める人材要件に沿った計画、および評価基準・方法を設定し、企業等からのフィードバックに基づいた成績評価を行うことを基本方針とする。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

* 授業内容について(1年次に1週間程度、連携企業先で現場実習を実施し、美容業界に必要な知識を習得する)

* 評価について(連携企業による項目別の評価をもとに最終評価に反映させ、成績認定を行うものとする)

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科 目 名	企業連携の方法	科 目 概 要	連 携 企 業 等
サロンワークⅠ-H	2.【校内】企業等からの講師が一部の授業のみを担当	卒業後のサロンワークを想定し、集客・接客なども含め、サロンの開店準備からオープンまでの全てを学び、マーケティング、サロンマネジメント、顧客管理について学びサロン運営を行う。	株式会社A.Rism
サロンワークⅡ-H	3.【校外】企業内実習(4に該当するものを除く。)	卒業後のサロンワークを想定し、集客・接客なども含め、ネイルサロンの開店準備からオープンまでの全てを学び、実際にお客様をお呼びして施術を行い、技術なども学んでいく。	株式会社A.Rism
サロンワークⅡ-J	2.【校内】企業等からの講師が一部の授業のみを担当	卒業後のサロンワークを想定し、集客・接客なども含め、サロンの開店準備からオープンまでの全てを学び、マーケティング、サロンマネジメント、顧客管理について学びサロン運営を行う。	株式会社TAT
サロンワークⅢ-J	3.【校外】企業内実習(4に該当するものを除く。)	卒業後のサロンワークを想定し、集客・接客なども含め、ネイルサロンの開店準備からオープンまでの全てを学び、実際にお客様をお呼びして施術を行い、技術なども学んでいく。	株式会社TAT

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

実践的かつ専門的な職業教育を実施し、明日の美容業界を担う人材を養成するためには、教員一人ひとりが常に業界ならびに実務に関する最新の知識を持ち、指導スキルを身につけようという向上心がなければならない。そのために、「研修等に係る諸規程」に基づき、計画的に以下の研修を実施している。

・企業等から講師を招いた実践的かつ専門的な知識・技術・技能を修得するための研修

・企業等から講師を招いた指導力の修得・向上のための研修

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名:	TITA NAIL 巻き爪ケア講習	連携企業等:	株式会社TAT
期間:	令和6年7月30日(火)	対象:	教職員(12名)
内容:	ネイル技術の向上および巻き爪のケアを学ぶ		
研修名:	ジェルチップイクステンション・マシンセミナー	連携企業等:	株式会社TAT
期間:	令和6年8月21日(水)	対象:	教職員(12名)
内容:	ネイル技術の向上およびマシンの取り扱い方法の講習		
研修名:	メイクアップアーティスト Hiro トレンド技術講習	連携企業等:	Hiro Yamamoto
期間:	令和6年10月8日(火)	対象:	教職員(26名)
内容:	ニューヨークでのトレンドを学び、肌質の表現やメイクの知識を増やす		
研修名:	ネイル検定1級対策講座	連携企業等:	株式会社 スペースネイル
期間:	令和7年3月6日(木)	対象:	教職員(11名)
内容:	ネイル検定1級の技術向上のための講習		

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名:	私が一番受けたいココロの授業	連携企業等:	上田情報ビジネス専門学校 副校長 比田井 和孝様
期間:	令和7年3月18日(火)12:00~16:00	対象:	教職員(28名)
内容:	心に響く心の授業		

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名:	コンテスト対策研修	連携企業等:	株式会社 スペースネイル
期間:	令和7年10月27日(月)	対象:	教職員(11名)
内容:	成果を残せるコンテスター育成のレクチャー		

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名: AIで合格率を上げる!～検定試験・国家試験対策に役立つAI活用術～ 連携企業等: 株式会社dott
 期間: 令和8年3月3日(火) 対象: 教職員(33名)
 内容: AIを活用し授業の質向上を目指し、教材作成のスキルを向上するための知識を学ぶ

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

学校関係者として、関連分野の業界関係者及び卒業生、地域に根差した関連企業と共に、学校関係者評価委員会を設置し、教育目標や教育について評価し、その評価結果を次年度の教育活動および学校運営の改善の参考とする。学校関係者評価は、「専修学校における学校評価のガイドライン」の評価項目を使用して実施した自己点検・自己評価の結果を基に「実施することを基本方針とする。また評価結果は学校のホームページで公表し、委員会で得られた意見についてはすみやかに集約し、各業務担当者にフィードバックすることで、学校運営の改善に生かすものとする。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	(1)教育理念・目標
(2)学校運営	(2)学校運営
(3)教育活動	(3)教育活動
(4)学修成果	(4)学修成果
(5)学生支援	(5)学生支援
(6)教育環境	(6)教育環境
(7)学生の受入れ募集	(7)学生の受入れ募集
(8)財務	(8)財務
(9)法令等の遵守	(9)法令等の遵守
(10)社会貢献・地域貢献	(10)社会貢献・地域貢献
(11)国際交流	(11)国際交流

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

委員会にいただいた以下の意見について対応を行っている。
 就職後の定着率に課題がある。入社前にギャップが埋められるよう、内定後の学校生活の中で入社に向けて意識を高める取り組みをしてみようか。
 ⇒対応: サロンワーク科目内で企業連携を実施し、入社準備に備えるための取り組みを検討

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和7年6月30日現在

名 前	所 属	任期	種別
石川 茜	FAVORIX BEAUTY株式会社 経営企画室主任	令和7年4月1日～令和8年3月31日(1年)	企業関連
岡西 美緒	株式会社TAT 東日本営業部 課長	令和7年4月1日～令和8年3月31日(1年)	企業関連
大瀧 峰彦	株式会社 田谷 直営事業本部 人材育成グループ 次長	令和7年4月1日～令和8年3月31日(1年)	企業関連
中島 えり	第13期卒業生 エステサロンピアリ瑞江経営者	令和7年4月1日～令和8年3月31日(1年)	卒業生
平井 宏子	SANKO日本語学校東京 専門課長	令和7年4月1日～令和8年3月31日(1年)	学識経験者
齋藤 亜希	飛鳥未来きずな高校お茶の水キャンパス キャンパス長	令和7年4月1日～令和8年3月31日(1年)	学識経験者

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他())

URL: <https://www.sanko.ac.jp/tokyo-beauty/disclosure/>

公表時期: 令和7年7月15日

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」に則って情報提供を行うことを基本方針とし、以下の姿を目指す。

1. 学校の指導方針や課題への対応方法等に関し、教職員・生徒間、学校・家庭間の共通理解が深まり、教育活動の活性化や学校運営の円滑化につなげること。
2. 入学希望者やその保護者に対し、進路選択に当たっての有用な情報を提供するとともに、一人ひとりの能力・適性にあった望ましい進路の実現に資すること。
3. キャリア教育・職業教育をはじめとした教育活動の状況等について、業界関係者に情報提供することで、相互の対話が促され、実習・就職指導等企業等との連携による活動の充実や、業界等のニーズを踏まえた教育内容・方法の改善につなげること。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	学校の概要、目標および計画
(2) 各学科等の教育	学科概要、カリキュラム、シラバス、客観的な指標の算出方法、卒業要
(3) 教職員	教員数、組織、専門性
(4) キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育への取り組み、実習実技への取り組み
(5) 様々な教育活動・教育環境	学校行事
(6) 学生の生活支援	生活上の諸問題への対応
(7) 学生納付金・修学支援	学生納付金、就学支援
(8) 学校の財務	学校の財務
(9) 学校評価	自己評価・学校関係者評価結果
(10) 国際連携の状況	
(11) その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他())

URL: <https://www.sanko.ac.jp/tokyo-beauty/disclosure/>

公表時期: 令和7年5月12日

授業科目等の概要

(衛生専門課程 トータルビューティ科)														
	分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時間数	授業方法			場所		教員専任	企業等との連携
	必修	選択必修	自由選択					講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外		
1	○			サロンマナーⅠ	敬語の使い方や履歴書の書き方、ビジネス文書の書き方など社会人としての考え方、ルールやマナーを身につける。	1年前	30	2	○			○		○
2	○			カラーコーディネートⅠ	色に関する知識、法則、技法を理解する。	1年前	30	2	○			○		○
3	○			未来デザインプログラムⅠ	三幸学園の教育理念である「技能と心の調和」を体现する為の授業として、7つの習慣を体系的に学ぶことで、社会人／職業人としてあるべき人格を高め、主体性を発揮して物事にチャレンジできる人材に成長する	1年前	15	1	○			○		○
4		○		デッサン・イラストレーション	観察力と洞察力を養い芸術を理解する。	1年前	30	2	○			○		○
5			○	皮膚学Ⅰ	皮膚の働きのしくみを理解し、美しく健康に保つためのスキンケアの方法を学ぶ。	1年前	30	2	○			○		○
6			○	生理学Ⅰ	人体の仕組み、構造と働きの基本を理解する。	1年前	30	2	○			○		○
7			○	栄養学Ⅰ	人間の栄養素の必要量、食品成分、食料の消費と経済、食習慣、食品の栄養価、食事と健康を理解する。	1年前	15	1	○			○		○
8			○	香粧品学Ⅰ	化粧品の法律上の扱いや分類、取り扱い上の留意点、化粧品の目的と機能、使用される主な原料を学ぶ。	1年前	15	1	○			○		○
9		○		エステティック概論・衛生学・関係法規Ⅰ	エステティックの全体像を正しく理解し、本質を知る。法の基礎知識を学び、エステティックに関わる法律、自主基準と衛生管理・感染症について理解する。	1年前	15	1	○			○		○
10			○	ベーシックエステⅠ	身体や皮膚の生理機能に基づいたフェイシャル・ボディトリートメントを学び、エステティックの流れ、基本の手技を覚え一つ一つの手技の意味を理解する。	1年前	60	2		○		○		○
11			○	ベーシックネイルⅠ	ネイルについて歴史などの背景から始まり各部名称や病気・消毒法などを理解し、基礎的なケアカラー技術を実践できる。	1年前	60	2		○		○		○
12			○	ベーシックメイクⅠ	スキンケアからフルメイクまでのメイクの技術を習得し現場を意識して実践できるようにする。	1年前	60	2		○		○		○
13			○	就職対策Ⅰ	就職するうえで必要な知識や心構えを身に付ける	1年前	15	1	○			○		○
14			○	キャリアデザインⅠ	自己成長と社会適応力を高め、充実した社会人へ向けての準備をする。	1年前	15	1	○			○		○
15	○			カラーコーディネートⅡ	色に関する知識、法則、技法を理解する。	1年後	30	2	○			○		○
16	○			未来デザインプログラムⅡ	三幸学園の教育理念である「技能と心の調和」を体现する為の授業として、7つの習慣を体系的に学ぶことで、社会人／職業人としてあるべき人格を高め、主体性を発揮して物事にチャレンジできる人材に成長する	1年後	15	1	○			○		○
17			○	就職対策Ⅱ	就職するうえで必要な知識や心構えを身に付ける	1年後	15	1	○			○		○
18			○	キャリアデザインⅡ	自己成長と社会適応力を高め、充実した社会人へ向けての準備をする。	1年後	15	1	○			○		○
19	○			サロンマナーⅡ	敬語の使い方や履歴書の書き方、ビジネス文書の書き方など社会人としての考え方、ルールやマナーを身につける。	1年後	15	1	○			○		○
20			○	SNS・WEB・フォトスキル	美容業界の現状やニーズを把握し、SNS・WEB・フォトスキルを活用したマーケティング・集客を理解し実践できるようにする。	1年後	15	1	○			○		○
21			○	皮膚学Ⅱ	皮膚の働きのしくみを理解し、美しく健康に保つためのスキンケアの方法を学ぶ。	1年後	30	2	○			○		○
22			○	生理学Ⅱ	人体の仕組み、構造と働きの基本を理解する。	1年後	30	2	○			○		○
23			○	栄養学Ⅱ	人間の栄養素の必要量、食品成分、食料の消費と経済、食習慣、食品の栄養価、食事と健康を理解する。	1年後	15	1	○			○		○
24			○	香粧品学Ⅱ	化粧品の法律上の扱いや分類、取り扱い上の留意点、化粧品の目的と機能、使用される主な原料を学ぶ。	1年後	15	1	○			○		○
25			○	ベーシックネイルⅡ	エステ認定試験内でのネイル技術を学び実践でき、さらに基礎に加えてJNA2級課題である爪の補修・補強を学ぶ	1年後	30	1		○		○		○

26			○	ベーシックエ ステⅡ	エステティック機器の使用方法・注意事項・禁忌事項を学び、肌・体の状態に合ったフェイシャル・ボディトリートメントを理解する。	1年 後	30	1		○		○				○
27			○	ビューティー カウンセリング	メイクの業界で求められる人材や接客についての言葉使いを学び、また化粧品ブランドについての知識を研究し実践力を身につける。	1年 後	30	2	○			○		○	○	○
28			○	検定メイクⅠ	メイクの基礎知識や技術を学びメイク検定合格をする。	1年 後	45	3	○			○		○	○	○
29			○	ヘアアレンジ Ⅰ	頭部の名称からヘアアレンジの基礎知識・現場での基礎技術を出来る様にする。	1年 後	60	2		○		○				○
30			○	パーソナルメ イク	基礎技術をテーマに合わせる(応用)メイクアップが出来るようになる。	1年 後	45	2		○		○		○	○	○
31			○	ベーシックメ イクⅡ	前期に学んだ基礎を生かしテーマに合わせたメイク技術を習得しメイク検定合格を目指す。	1年 後	30	1		○		○				○
32			○	エステティッ クセラピーⅠ	一人ひとりの心や体の悩みの相談に応じて人間的理解を深めて、悩みを解決へと導く心理学に基づく療法を理解する。	1年 後	15	1		○		○				○
33			○	エステティッ ク概論・衛生 学・関係法規 Ⅱ	エステティックの全体像を正しく理解し、本質を知る。法の基礎知識を学び、エステティックに関わる法律、自主基準を理解する。	1年 後	15	1		○		○				○
34			○	プロフェシ ョナルⅠ	トラブル別に使用する化粧品・機器を理解し、その使用方法・注意事項・禁忌事項を学び肌の状態にあったトリートメントを提供できる知識、技術を身につける。	1年 後	60	2		○		○				○
35			○	プロボディⅠ	全身のマッサージを学び、採寸から分析しクライアントに合わせたマッサージを提供する。注意事項・禁忌事項を学び身体の状態にあったトリートメントを提供できる知識、技術を身につける。	1年 後	60	2		○		○				○
36			○	アロマテラ ピーⅠ	アロマセラピーの基礎知識、精油のプロフィール、トリートメント法、嗅覚のメカニズムや脳の構造から香りの作用、健康学、アロマセラピーに関わる法律问题・資格制度を学ぶ。	1年 後	30	2		○		○				○
37			○	スカルプチュ ア	JNEC1級課題となるスカルプチュア・イクステンションの基礎を学び、知識とともに技術向上を目指し、アクリリックの特性を理解して施術が出来る。	1年 後	45	2		○		○				○
38			○	ネイルケア& ネイルアート Ⅰ-Ⅰ	JNEC2級検定へ向けて、ニッパーのハンドリングやフアイリング技術の強化とともに、様々なネイルアート（フラット）を描くことが出来る。	1年 後	45	2		○		○				○
39			○	検定対策Ⅰ	JNEC3級検定を取得し、更なる上の級やJNAジェル検定初級の取得を目指し、ネリストとしての基礎の完全にマスターし、実践できる。	1年 後	45	3		○		○				○
40			○	ジェルネイル Ⅰ	ジェルの基礎を学び知識とともに技術向上を目指し、特性を理解して説明して施術が出来るようにする。	1年 後	45	2		○		○				○
41			○	コンテストⅠ	授業内で技術を磨き競わせ、自身で諦めない気持ちやモチベーションを向上させ維持することを実践できること。	1年 後	15	1		○		○				○
42			○	フェイシャル &ボディⅠ	エステティック機器の使用方法・注意事項・禁忌事項を学び、肌・体の状態に合ったトリートメントを理解する。	1年 後	45	2		○		○				○
43			○	ネイルアート Ⅰ	JNEC3級のアートに加えて、更に上級検定やサロンで通用するネイルアートの技法を学び習得し、アートでの色使いや筆の使い方等を習得する。	1年 後	30	1		○		○				○
44			○	ネイル演習	JNEC3級の取得をして、更に上級のJEC2級検定へ向けて付け爪などの技術を習得し、より深くネイルケアの大切さを理解する。	1年 後	30	1		○		○				○
45			○	パーソナルヘ ア&メイクⅠ	頭部の名称からヘアアレンジの基礎知識・現場での基礎技術を出来る様にする。	1年 後	30	1		○		○				○
46			○	検定メイクⅡ	前期に学んだ基礎を生かしテーマに合わせたメイク技術を習得しメイク検定合格を目指す。	1年 後	30	2		○		○				○
47			○	スマホフォト 技術	スマートフォンを使って作品撮りや自撮りのテクニックを身に付ける	1年 後	15	1		○		○				○
48			○	自己プロデ ュース	客観的な分析力と表現力を身に付ける	1年 後	15	1		○		○				○
49			○	パーソナルス タイル	顔のパーツを最も美しく引き立てるメイク・理論を習得する	1年 後	15	1		○		○			○	○
50			○	ビューティー フード	美容と健康に効果的な食の伝統と知識・食事法を理解する	1年 後	15	1		○		○			○	○
51			○	サロンワーク Ⅰ-Ⅰ	実際のサロンでのお客様対応や施術を学び、トラブルの回避を自身で考え対応でき、実践を通して技術を習得する。	1年 後	45	1		○		○				○
52			○	サロンワーク Ⅱ-Ⅰ	①実際のサロンでのお客様対応や施術を学び、トラブルの回避を自身で考え対応でき、実践を通して技術を習得する。 ②「美」を通ず人を魅了することへの表現力を身につける。	2年 前	45	1		○		○				○
53			○	サロンワーク Ⅲ-Ⅰ	①実際のサロンでのお客様対応や施術を学び、トラブルの回避を自身で考え対応でき、実践を通して技術を習得する。 ②「美」を通ず人を魅了することへの表現力を身につける。	2年 後	45	1		○		○				○

54			○施設実習Ⅰ	美容業の現場で求められる資質や運営方法を具体的に理解する。	2年前	40	1			○		○	○		○
55			○施設実習Ⅱ	美容業の現場で求められる資質や運営方法を具体的に理解する。	2年前	40	1			○		○	○		○
56			○就職対策Ⅲ	就職するうえで必要な知識や心構えを身に付ける	2年前	15	1	○			○		○		
57			○就職対策Ⅳ	就職するうえで必要な知識や心構えを身に付ける	2年後	15	1	○			○		○		
58			○着付けⅠ-A	着付に関する技術の習得や付随する知識を蓄えることにより、今後の接客へ役立てる。	2年前	30	1		○		○			○	
59			○着付けⅠ	着付に関する技術の習得や付随する知識を蓄えることにより、今後の接客へ役立てる。	2年前	30	1		○		○			○	
60			○着付けⅡ	着付に関する技術の習得や付随する知識を蓄えることにより、今後の接客へ役立てる。	2年後	30	1		○		○			○	
61			○ビューティー接客Ⅰ	ビジネスシーンで使える外国語の基礎と知識を学ぶ・接客に必要な外国語が出来るようになる	2年前	30	2	○			○		○	○	
62			○ビューティー接客Ⅱ	ビジネスシーンで使える外国語の基礎と知識を学ぶ・接客に必要な外国語が出来るようになる	2年後	30	2	○			○		○	○	
63			○ビューティーメイクⅠ-E	イメージに合わせたメイクテクニックを理解し、施術タイムも意識委しながら実践を行う	2年前	60	2		○		○		○	○	
64			○ビューティーメイクⅡ-E	イメージに合わせたメイクテクニックを理解し、施術タイムも意識委しながら実践を行う	2年後	60	2		○		○		○	○	
65			○ブランドリサーチⅠ	化粧品ブランドについての知識を研究し実践力を身につける	2年前	45	2		○		○		○	○	
66			○ブランドリサーチⅡ	化粧品ブランドについての知識を研究し実践力を身につける	2年後	45	2		○		○		○	○	
67			○カウンセリングⅠ	化粧品販売員として必要な知識を身に付ける	2年前	60	4		○		○		○	○	
68			○カウンセリングⅡ	化粧品販売員として必要な知識を身に付ける	2年後	60	4		○		○		○	○	
69			○クリエイティブヘアメイクⅠ	ショーや撮影など様々な場面で施すヘアメイク技術を身につけ、現場において実践できるようにする	2年前	45	2		○		○		○	○	
70			○クリエイティブヘアメイクⅡ	ショーや撮影など様々な場面で施すヘアメイク技術を身につけ、現場において実践できるようにする	2年後	45	2		○		○		○	○	
71			○ファッションⅠ	ファッションとメイクについての関連性・傾向・知識を知り知識を深める	2年前	15	1	○			○		○	○	
72			○ファッションⅡ	ファッションとメイクについての関連性・傾向・知識を知り知識を深める	2年後	15	1	○			○		○	○	
73	○		サロンワークⅠ-H	マーケティング・サロンマネジメント・顧客管理について学びサロン運営を行う	2年前	60	2			○	○		○	○	○
74	○		サロンワークⅡ-H	マーケティング・サロンマネジメント・顧客管理について学びサロン運営を行う	2年後	60	2			○	○		○	○	○
75			○ビューティーメイクⅠ-F	イメージに合わせたメイクテクニックを理解し、施術タイムも意識委しながら実践を行う	2年前	30	1		○		○		○	○	
76			○ビューティーメイクⅡ-F	イメージに合わせたメイクテクニックを理解し、施術タイムも意識委しながら実践を行う	2年後	30	1		○		○		○	○	
77			○スチールヘアメイクⅠ	スチールヘアメイクの技術を学び実践できるようにする	2年前	45	2		○		○		○	○	

78			○ スチールヘアメイクⅡ	スチールヘアメイクの技術を学び実践できるようにする	2年後	45	2		○		○		○	○	
79			○ ヘアアレンジⅡ	1年次に学んだ基礎技術に応用し和装から洋装までシーンに合わせたヘアアレンジ技術を現場を意識して実践できるようにする。	2年前	45	2		○		○			○	
80			○ ヘアアレンジⅢ	1年次に学んだ基礎技術に応用し和装から洋装までシーンに合わせたヘアアレンジ技術を現場を意識して実践できるようにする。	2年後	45	2		○		○			○	
81			○ ビューティーカウンセラメイクⅠ	イメージに合わせたポイントメイク技術を学び、イメージを意識したメイク技術を実践する。スキンケア・スキンケア対処方接客についてを習得する。	2年通	60	4	○			○		○		
82			○ ビューティーカウンセラメイクⅡ	イメージに合わせたポイントメイク技術を学び、イメージを意識したメイク技術を実践する。スキンケア・スキンケア対処方接客についてを習得する。	2年通	60	4	○			○		○		
83			○ ブライダルメイクⅠ	ブライダルのシーンに合ったメイク技術を学ぶ。現場を意識した技術を出れる様になる。	2年前	45	2		○		○			○	
84			○ ブライダルメイクⅡ	ブライダルのシーンに合ったメイク技術を学ぶ。現場を意識した技術を出れる様になる。	2年後	45	2		○		○			○	
85			○ 特殊メイクⅠ	ボディアート・傷メイクなど特化したシーンで活用できる特殊メイク技術を学び、実践できるようにする。	2年前	45	2		○		○			○	
86			○ 特殊メイクⅡ	ボディアート・傷メイクなど特化したシーンで活用できる特殊メイク技術を学び、実践できるようにする。	2年後	45	2		○		○			○	
87			○ アーティストメイクⅠ	ショーや撮影などで施すメイク技術を身に付け、現場において実践できるようにする。	2年前	45	2		○		○			○	
88			○ アーティストメイクⅡ	ショーや撮影などで施すメイク技術を身に付け、現場において実践できるようにする。	2年後	45	2		○		○			○	
89			○ フォト & ファッションⅠ	フォトは写真のレイアウトやモデルのボーディング・撮影場所によっての注意点等を理解し、実践力を身につける。ファッションは自身の好みだけにとられない様、幅広く興味が持てる様に知識を増やせるようにする。	2年前	15	1	○			○			○	
90			○ フォト & ファッションⅡ	フォトは写真のレイアウトやモデルのボーディング・撮影場所によっての注意点等を理解し、実践力を身につける。ファッションは自身の好みだけにとられない様、幅広く興味が持てる様に知識を増やせるようにする。	2年後	15	1	○			○			○	
91		○	サロンワークⅠ-D	①マーケティング・サロンマネジメント・顧客管理について学び、サロン運営を行う。 ②「美」をとおして人を魅了することへの表現力を身につける。	2年前	60	2			○	○			○	○
92		○	サロンワークⅡ-D	①マーケティング・サロンマネジメント・顧客管理について学び、サロン運営を行う。 ②「美」をとおして人を魅了することへの表現力を身につける。	2年後	60	2			○	○			○	○
93			○ エステティックカウンセリングⅡ	顧客の悩みや状態について原因・要因を考え、的確に状態を見極め、カウンセリングシートを作成する。お手入れとアドバイスを専門的に与える知識を身につける。	2年前	30	2	○			○			○	
94			○ エステティックカウンセリングⅢ	顧客の悩みや状態について原因・要因を考え、的確に状態を見極め、カウンセリングシートを作成する。お手入れとアドバイスを専門的に与える知識を身につける。	2年後	30	2	○			○			○	
95			○ サロントリートメントⅠ	選択科目の知識、技術を学ぶ。	2年前	45	2		○		○			○	
96			○ サロントリートメントⅡ	選択科目の知識、技術を学ぶ。	2年後	45	2		○		○			○	
97			○ エステティック総論Ⅰ-A	エステティック知識総合（資格試験対応）	2年前	60	4	○			○			○	
98			○ エステティック総論Ⅱ-A	エステティック知識総合（資格試験対応）	2年後	60	4	○			○			○	
99			○ フェイシャルマニキュレーションⅠ	応用トリートメント（資格試験対応） ベーシックエステ、プロフェイシャルで学んだハンドテクニック技術、知識を深める。	2年前	45	2		○		○			○	
100			○ フェイシャルマニキュレーションⅡ	応用トリートメント（資格試験対応） ベーシックエステ、プロフェイシャルで学んだハンドテクニック技術、知識を深める。	2年後	45	2		○		○			○	
101			○ フェイシャルスキンケアⅠ	応用トリートメント（資格試験対応） ベーシックエステ、プロフェイシャルで学んだハンドテクニック技術、知識を深める。 電気機器の正しい取り扱い、効果、禁忌事項、留意点について理解する。	2年前	45	2		○		○			○	
102			○ フェイシャルスキンケアⅡ	応用トリートメント（資格試験対応） ベーシックエステ、プロフェイシャルで学んだハンドテクニック技術、知識を深める。 電気機器の正しい取り扱い、効果、禁忌事項、留意点について理解する。	2年後	60	2		○		○			○	

103			○	ボディベーシックⅠ	応用トリートメント（資格試験対応）クライアントに対応した知識、技術の習得。ベーシックエステ、プロボディで学んだハンドテクニック技術、知識を深める。	2年前	45	2		○		○		○			
104			○	ボディベーシックⅡ	ボディ分析・スエディッシュマッサージ練習・脱毛などを中心にAEA上級エステシジャンの試験対策を行う。	2年後	45	2		○		○		○			
105			○	ボディテクニカルⅠ	ボディテクニック総合（資格試験対応）クライアントに対応した知識、技術の習得。エステティック機器の技術、知識を深める。	2年前	45	2		○		○		○			
106			○	ボディテクニカルⅡ	ボディテクニック総合（資格試験対応）クライアントに対応した知識、技術の習得。エステティック機器の技術、知識を深める。	2年後	60	2		○		○		○			
107			○	プロボディⅡ	ボディテクニック総合（資格試験対応）クライアントに対応した知識、技術の習得をする。	2年前	60	2		○		○		○			
108			○	プロボディⅢ	ボディテクニック総合（資格試験対応）クライアントに対応した知識、技術の習得をする。	2年後	60	2		○		○		○			
109			○	プロフェイシャルⅡ-B	フェイシャルテクニック総合（資格試験対応）クライアントに対応した知識、技術の習得する。	2年前	90	4		○		○		○			
110			○	プロフェイシャルⅢ-B	フェイシャルテクニック総合（資格試験対応）クライアントに対応した知識、技術の習得する。	2年後	90	4		○		○		○			
111			○	プロフェイシャルⅡ-C	フェイシャルテクニック総合（資格試験対応）クライアントに対応した知識、技術の習得する。	2年前	60	2		○		○		○			
112			○	プロフェイシャルⅢ-C	フェイシャルテクニック総合（資格試験対応）クライアントに対応した知識、技術の習得する。	2年後	60	2		○		○		○			
113			○	エステティック総論Ⅰ-B	エステティック知識総合（資格試験対応）・皮膚学・生理解剖学・栄養学・化粧品学・概論・衛生・自然科学・電気学を学ぶ。	2年前	30	2	○			○		○			
114			○	エステティック総論Ⅱ-B	エステティック知識総合（資格試験対応）・皮膚学・生理解剖学・栄養学・化粧品学・概論・衛生・自然科学・電気学を学ぶ。	2年後	30	2	○			○		○			
115			○	エステティック総論Ⅰ-C	アロマセラピー検定対策（ヒーリングエステ専攻対応）とアロマセラピーⅠで学んだ知識の総復習 選択科目の理論を学ぶ	2年前	15	1		○		○		○			
116			○	エステティック総論Ⅱ-C	アロマセラピー検定対策（ヒーリングエステ専攻対応）とアロマセラピーⅠで学んだ知識の総復習 選択科目の理論を学ぶ	2年後	15	1		○		○		○			
117			○	アロマセラピー総論Ⅰ	エステティック知識総合（ヒーリングエステ専攻対応） ・スキントッチと効果・脳の誕生と進化・機能・脳神経の構造と働き・心と肥満の関わり・ハーブのプロフィール	2年前	30	2	○			○		○			
118			○	アロマセラピー総論Ⅱ	エステティック知識総合（ヒーリングエステ専攻対応） ・スキントッチと効果・脳の誕生と進化・機能・脳神経の構造と働き・心と肥満の関わり・ハーブのプロフィール	2年後	30	2	○			○		○			
119			○	スパセラピーⅠ	選択科目の技術を学ぶ。 ・東洋医学・フットケア・リンパドレナージュ・アーユルヴェーダー	2年前	60	3		○		○		○			
120			○	スパセラピーⅡ	選択科目の技術を学ぶ。 ・東洋医学・フットケア・リンパドレナージュ・アーユルヴェーダー	2年後	60	3		○		○		○			
121			○	検定対策Ⅱ	1年次に学んだネイル技術に加え、検定合格に繋がる知識・技術をマスターし、実践できる。	2年前	60	4	○			○		○			
122			○	検定対策Ⅲ	1年次に学んだネイル技術に加え、検定合格に繋がる知識・技術をマスターし、実践できる。	2年後	60	4	○			○		○			
123			○	検定対策&スカルプチュアⅠ	1年次に学んだネイル技術に加え、検定合格レベルの知識技術をマスターし、サロンで適用するスカルプチュア技術の習得する。	2年前	60	4	○			○		○			
124			○	検定対策&スカルプチュアⅡ	1年次に学んだネイル技術に加え、検定合格レベルの知識技術をマスターし、サロンで適用するスカルプチュア技術の習得する。	2年後	60	4	○			○		○			
125			○	ジェルネイルⅡ	ジェルの特性を理解し、知識と技術の両面ともマスターし、お客様にご説明して施術できる。	2年前	60	2		○		○		○			
126			○	ジェルネイルⅢ	ジェルの特性を理解し、知識と技術の両面ともマスターし、お客様にご説明して施術できる。	2年後	60	2		○		○		○			
127			○	コンテストⅡ	授業内で技術を磨き競わせ、自身で諦めない気持ちやモチベーションを向上させ維持することを実践できる。	2年前	30	1		○		○		○			
128			○	コンテストⅢ	授業内で技術を磨き競わせ、自身で諦めない気持ちやモチベーションを向上させ維持することを実践できる。	2年後	30	1		○		○		○			
129			○	ネイルケアⅡ	トリートメント・フットやマシーン技術も含め、全てのネイル技術の基本であるケアをマスターして、更なる技術向上を目指し実践する。	2年前	45	2		○		○		○			
130			○	ネイルケアⅢ	トリートメント・フットやマシーン技術も含め、全てのネイル技術の基本であるケアをマスターして、更なる技術向上を目指し実践する。	2年後	45	2		○		○		○			

131		○	ネイルアートⅡ	ポリッシュアートなどのフラットアートから3Dアートに至るまでのネイルアート全てを学び習得する。	2年前	45	2		○	○			○	
132		○	ネイルアートⅢ	ポリッシュアートなどのフラットアートから3Dアートに至るまでのネイルアート全てを学び習得する。	2年後	45	2		○	○			○	
133		○	サロンワークⅠ～Ⅱ	マーケティング、サロンマネジメント、顧客管理について学びサロン運営を行う。	2年前	30	1		○	○			○	○
134		○	サロンワークⅡ～Ⅲ	マーケティング、サロンマネジメント、顧客管理について学びサロン運営を行う。	2年後	30	1		○	○			○	○
135		○	エステティックカウンセリングⅠ～Ⅱ	植物の力に関する知識を持ち、ライフスタイルの様々な場面に活用することでカラダの内側からも外側からも美しく健康になるための知識を学ぶ。	2年前	15	1	○		○				
136		○	エステティックカウンセリングⅢ～Ⅳ	植物の力に関する知識を持ち、ライフスタイルの様々な場面に活用することでカラダの内側からも外側からも美しく健康になるための知識を学ぶ。	2年後	15	1	○		○			○	
137		○	アロマテラピーⅡ	アロマテラピー検定対策。アロマテラピーⅠで学んだ知識の総復習と生活への応用。	2年前	15	1	○		○			○	
138		○	アロマテラピーⅢ	アロマテラピー検定対策。アロマテラピーⅠで学んだ知識の総復習と生活への応用。	2年後	15	1	○		○			○	
139		○	フェイシャル&ボディⅡ	フェイシャル&ボディⅠで学んだエステティック機器の使用法・注意事項・禁忌事項を学び、肌・体の状態に合ったトリートメントの理解を深める。	2年前	60	3		○	○				
140		○	フェイシャル&ボディⅢ	フェイシャル&ボディⅠで学んだエステティック機器の使用法・注意事項・禁忌事項を学び、肌・体の状態に合ったトリートメントの理解を深める。	2年後	60	3		○	○			○	
141		○	ネイルケア&ネイルアートⅠ～Ⅱ	基礎的なネイル技術から実践的な技術としてチップを使った付け爪を学び、JNEC2級検定取得を目指し、サロンで接客のできるアートなども含めて技術を習得する。	2年前	45	2		○	○			○	
142		○	ネイルケア&ネイルアートⅢ～Ⅳ	基礎的なネイル技術から実践的な技術としてチップを使った付け爪を学び、JNEC2級検定取得を目指し、サロンで接客のできるアートなども含めて技術を習得する。	2年後	45	2		○	○			○	
143		○	検定対策&ジェルⅠ	JNEC2級・JNAジェル検定初級取得し、デザインジェルをマスターし、サロンでお客様に説明しながら施術が出来る。	2年前	30	2	○		○			○	
144		○	検定対策&ジェルⅡ	JNEC2級・JNAジェル検定初級取得し、デザインジェルをマスターし、サロンでお客様に説明しながら施術が出来る。	2年後	30	2	○		○			○	
145		○	パーソナルヘア&メイクⅡ	1年次に学んだ基礎技術に応用し和装から洋装までシーンに合わせたヘアアレンジ技術を現場を意識して実践できるようにする。	2年前	30	1		○				○	
146		○	パーソナルヘア&メイクⅢ	1年次に学んだ基礎技術に応用し和装から洋装までシーンに合わせたヘアアレンジ技術を現場を意識して実践できるようにする。	2年後	30	1		○	○			○	
147		○	トータルメイクⅠ	メージに合わせたメイクテクニックを理解し、施術タイムも意識しながら実践を行う。	2年前	30	1		○	○			○	
148		○	トータルメイクⅡ	メージに合わせたメイクテクニックを理解し、施術タイムも意識しながら実践を行う。	2年後	30	1		○	○			○	
149		○	ヨガ・ピラティスⅠ	自分自身の身体で体感し五感を通してヨガ・ピラティスの基礎を学ぶ根本的な理論を学び、精神肉体両面から働きかけ自らの美と健康を維持促進する。	2年前	30	1		○	○				
150		○	ヨガ・ピラティスⅡ	自分自身の身体で体感し五感を通してヨガ・ピラティスの基礎を学ぶ根本的な理論を学び、精神肉体両面から働きかけ自らの美と健康を維持促進する。	2年後	30	1		○	○			○	
151		○	ダイエット学Ⅰ	栄養・運動・生活習慣など健康で美しい体を維持するための方法を学ぶ。	2年前	30	1		○	○			○	
152		○	ダイエット学Ⅱ	栄養・運動・生活習慣など健康で美しい体を維持するための方法を学ぶ。	2年後	30	1		○	○			○	
153		○	インターンシップⅠ	美容に携わるお仕事スタッフとして必要な社会人基礎力を身に付ける。	1年後	45	1		○		○	○	○	
154		○	インターンシップⅡ	美容に携わるお仕事スタッフとして必要な社会人基礎力を身に付ける。	2年前	45	1		○		○	○	○	
155		○	インターンシップⅢ	美容に携わるお仕事スタッフとして必要な社会人基礎力を身に付ける。	2年後	45	1		○		○	○	○	
合計						155	科目		277	単位(単位時間)				

(留意事項)

2 企業等との連携については、実施要項の3（3）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。